

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス陽だまりの丘		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 15日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 3日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童個別への対応や目標選定の枠が広く、成長と共に獲得できるスキルを増やすことができる。	学校ではできない活動や工作、レクリエーションの考案など	児童の好みを取り入れて効果的なツールや理解するためのツールの作成。
2	児童やご家族様に寄り添った支援内容の作成。	ご家族様や児童個別に合わせて目標を選定しています。スモールステップを意識しながら段階的に目標を達成できるよう努めています。	目標を達成できない場合の判断や手段の変更などを逐次確認して行う事。
3	日常生活動作の定着。	学習の時間やお掃除の時間を設けて、児童が少しでも関わり生活動作を獲得できるように取り組んでいます。	家庭や社会に出て必要になることを学習や掃除以外にも設けて反復練習することで身に着けることができるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員スキルの平準化と意識の統一	パートさんなど研修の機会が少ない職員がいる 児童の支援計画・目標の周知	最低月1回の研修は行われているが、研修の機会を増やす
2	地域交流がほとんどない	児童の問題行動が多く迷惑をかけてしまう危険がある 固定観念などから一緒に活動を断られるケースや、施設の利用を断られてしまうこともある	地域に根差した施設を目指すためにも、ゴミ拾いや買い物レクなどから施設があること、通所している児童などを覚えてもらう
3	職員の危険察知の対応が未熟	事故が起きる前の児童の高度などから、事前に危険を察知し行動を止める、他に注意をそらすなどがあまりできていない	研修の機会を設ける。全国の事例を学ぶ。児童の性格や行動などを学ぶ